

# 関東大震災関連の自然災害伝承碑

関東大震災に関連する自然災害伝承碑  
(2023年8月24日時点)

- 凡例
- 地震・火災関連碑
  - 津波関連碑
  - 土砂災害関連碑



## 地震・火災関連碑

大正大震火災石原町遭難者碑 (大正14年(1925)建立)



### 伝承内容

大正12年(1923)9月1日の関東大地震で起きた大火災は都市の大部分を焦土にした。なかでも本所区と深川区の被害が最も甚だしく、無数の人命が奪われた。当時の本所区石原町民約8,000人中およそ7,000人が焼死した。昭和6年(1931)移設。

## 津波関連碑

大正12年関東大震災つなみ浸水地点 (建立年不明)



### 伝承内容

大正12年(1923)9月1日午前11時58分に発生した関東大震災では、強い揺れにより家屋や橋梁が倒壊し、沿岸を高さ約5m(石碑の地点は標高4.7m)の津波が二度にわたって襲った。旧宇佐美村では家屋全壊33戸、半壊67戸、家屋流失111戸の被害となった。

## 土砂災害関連碑

大震災殃死者供養塔 (大正14年(1925)建立)

神奈川県小田原市  
根府川周辺



### 伝承内容

大正12年(1923)9月1日午前11時58分に発生した関東大震災により、根府川地区では山津波の影響で200余名が犠牲となった。